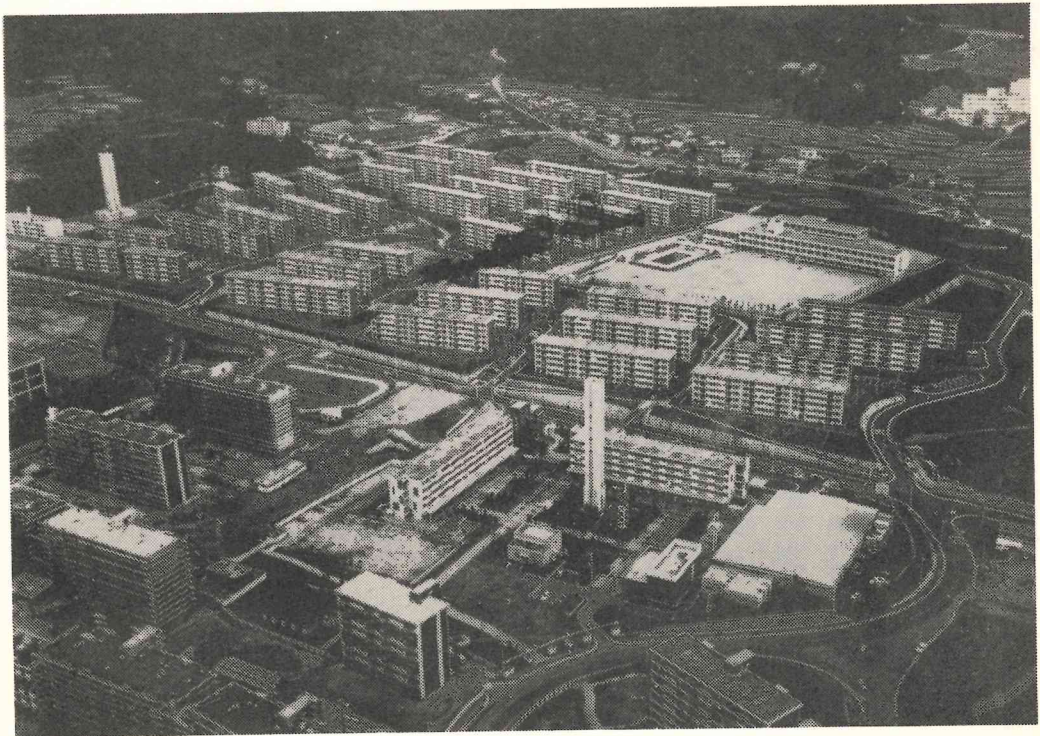


粟生

特 集 号

27



お帰りなさい！お地藏さま

お地藏さまの「社」建立のお礼

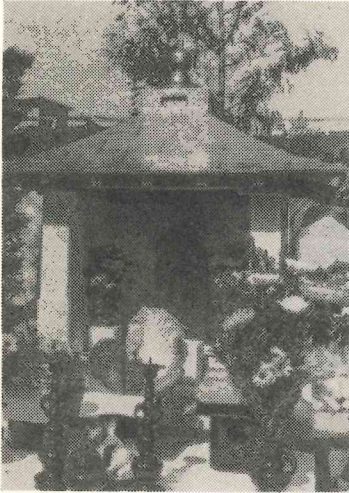
十一月二日早朝、勝尾寺に長らく安置されておりましたお地藏さまを、同寺住職に抜魂して戴き、皆さまの浄財で新築落成しました「社」にお迎えいたしました。

よく三日の文化の日に、勝尾寺貫主・帝釈寺住職・善福寺住職の諸氏による開眼法要を行い、小島貫主の「お地藏さまと共に」という法話で無事この度の行事を終了いたしました。

ここに、当団地造成前に撤去されたと伝えられる数体のお地藏さまの鎮魂を行うと共に、私達のとこしえの平穩をお願いいたしました。

これも皆さまのお蔭だと心から感謝し、感激いたしております。

進行に際し、数々のご迷惑をおかけし、又不手際があったことを、紙面を借りて深くおわび申し上げます。本当にありがとうございます。



(安心されたお地藏さまの姿)

私たちの祭文

お地藏さま！ようこそお帰りくださいました。

この場所をお離れになって、五年ぶりにもとの地に落ちつかれました。きょうの日を、この地の住民ともどもお待ちいたしておりました。心よりうれしく思います。

この団地ができます前、このあたり一帯は水田でございました。菩薩さまは広い水田を見渡し、年ごとの秋の収穫を、あたたかい目で、見守っておられたことでございました。けれどもそののち、団地造成のために大変ご窮屈な状態をお忍びになりました。ほんとうにお気の毒でございました。

ちようど五年前の夏でございました。粟生間谷の野口由松様の夢の中でお声をおかけくださいました。さっそく野口さまは泥にまみれて倒れておられる菩薩さまを見つけられました。そうして勝尾寺へお移りになることになりました。

わたくしども当団地の住民はそれから二年後の昭和四十九年の春、この地へ越して参りました。まもなくこの地で三度目の正月を迎えることになりました。菩薩さまにこの地へおもどりいただきますことは、かねてからのわたくしどもの念願でございました。多くの人々がお里帰りのために心をついにしてくださいました。さいわい、当団地の住民はじめ周辺地区の人々の熱意とご好意が実り、きょうふたたびここにお住まいいただけることになりました。

どうか菩薩さま、団地住民・周辺地域の人々が仲良く元気で暮していくことができますように。お年寄りの健康と長寿と、そして子どもたちのすこやかな成長をいつまでもお見守りくださいますように。またこの地へ越して参りましてから亡くなられました方々の御霊もお見守りくださいますようにおねがひいたします。

住民一同に代りましてわたくしどものよろこびの気持をお伝えいたしました。
菩薩さま、ほんとうにようこそお帰りくださいました。

昭和五十二年十一月三日

里帰りを進める会代表

酒居公明（三七棟二〇一）

ちゅうしや

わたしは、きょうは、ちゅうしやだからいやだなあとおもいました。

けれど、みんなが、なかないでかえってきたから、いたくないんだなあ、とおもいました。そして、わたしのばんが、きました。ちゅうしやのさきが、とんがっているので、やっぱり、いたいのかなあと、おもいました。

でも、ちゅうしやをしたら、いたくなかったので、よかった。

小学一年 たかこ

おとなの人におねがい!!

や犬をつかまえて下さい。

こわくてあそんだり学校へいくのにこまります。学校からかえるのも、いくのもいやなぐらいです。とくにうすちやいろいろの大きいいぬと、くろい中ぐらいなの、とても、こわくてこまります。

それに、図しょかんにいっただとき、ほえたてられました。とくに多いばしは、きゅうとうと、21棟です。

小学四年 二十一棟F、十八棟S、六棟B、三名共書

こどものひろば

「山田耕作」を読んで

耕作は、どんなにつらいことがあってもがまんした。人間、やってできないことはない。でもそのつらいことを、やりとうしたら、そのあと、うれしいことがある。山田耕作と言う人も、おとうさんがなくなつたらさや、さびしさがあっても、印刷工場で働いて、つらさやさびしさをこして、初めての文化くんしょうをとるような、りっぱな音楽家になれた。

わたしだってそうです。一年生の時は「読書感想文を書きなさい」と先生から言われたら、その時間は、一時間中さぼったりしていた。

わたしは、一年生の時いちばんにがてだったのは、読書感想文を書くことでした。いつも、何々がえらいと思つたとか、だれだれはかわいそう。こんなことばかりしか書かなかつたから、感想文を書いた日は、いつでものこつた。でも、わたしは四年生になって初めて、感想文を書くよろこびをした。

耕作という人も、わたしと、おなじだったと思う。ドイツに行ったりした。それから外国の音楽をしょうかいする、えらい音楽家になれたのなら、わたしたち

だって、これから、えらくなれるようになると思う。

わたしたちはいま、いきていくよろこびをしらない。

でも耕作という人は、いきていくよろこびをもっている。

今のわたしたちは、でんしれんじ、でんきれいぞうこ、テレビ、とかは、耕作のいきていたじだいにはなかったと思う。わたしは、これから、読書感想文だけじゃなくて漢字とかにがてなものも、とくいいになりたいと思います。

わたしが読書感想文のよろこびを、しったときのよろこび、漢字のよろこびもしりたいと思います。これから耕作にまけないような、りっぱな人間になりたいと思います。だから、これから、もっともっと、ペンきょうしたいと思います。

小学四年 J子

さようならノピチ

今日夕方ごろ、インコのピチと言う鳥の足が、すばからおちたほうと、下のところに引っかかって、もがいているところを、おばあちゃんが見つけました。そして、おばあちゃんが足ははずしてあげたけれど、もう死にかけでした。

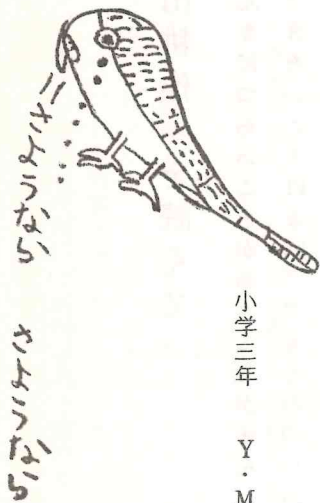
おっちゃんがしよ水をのませたり、ドライヤーで体を

ぬくめたりしたら、すこしげんきが出て来ました。そしてしばらくして、またおっちゃんが来て、息をふきかけてあつたかくしたら、キューと、言って死にました。死ぬちよつと前に、しっぽと頭を、かわるがわるふって死んで行きました。おっちゃんは、こう言いました。「死ぬとき、キューと、言うのは、さようならと、おれいを言っているのだ。」

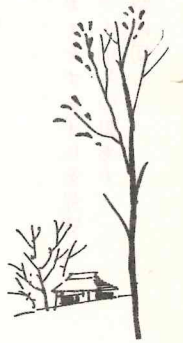
こうしてピチは、死にました。今家にいる鳥は、二ひきになっしまいました。鳥が死ぬときは、みんなおっちゃんに、おれいを言って死んで行きます。ぼくと、おっちゃんだけで鳥をうめに行きました。東山じゅうたくの小さなおはかにうめました。うめた所は、二年ほど前に死んだ文鳥をうめた所です。鳥に、タオルをまいてうずめてあげました。きねんに、木にちぎったタオルをくくりつけました。そして家に帰りました。

もういき物はかわないでおこうとおもいました。さようなら、ピチ。

小学三年 Y・M



秋を食へる



実りの秋、栗は弾け、柿の実は赤くなり、イモ畑の土は裂け、黄金の穂がなびく。しかし山菜愛好家にとってはそれほど好ましい季節ではない。木の葉が一枚一枚散り、草の葉が枯れてゆくのをみると寂しいかぎりである。

だから、もっぱら秋は、キノコ狩り、木の実採り、山イモ掘りなどに出来る。当然、春の野草摘みとは趣を異にする。山菜採りの風情はない。キノコ類は参考書と比較しながら採取しないと不安でしかたがない。何となく毒がありそうな気がして、つい手が引込んでしまう。毎年数百名の人々がキノコ中毒にかかるらしい。しかし死亡率は低く、年に一人以下だといふから、フグ中毒よりは安心出来る。

もっと恐いのがへび、春はそれ程でもないが、秋は産卵のためにママシが嘔みつくというから困ったものである。勿論、私は未だ嘔まれたこともないし、キノコ中毒になった経験もない。もし嘔みつかれなどしたら、二度と山へは行かないだろう。

シバ粟や椎の実を拾ったり、シブ柿を採ってきた、正月用につるし柿を作ったりするのも楽しい。木の実を漬けた果実酒も野趣豊かである。我が家では、つるし柿を作っても、子供たちが今か、今かと待ちわびているので、正月まで保ったためしがない。友人などが来ると、つい自慢話になり「自家製つるし柿だ」と土産に持たせるので、自分の口に入るのはほんの数個になってしまう。後で「しまった」と思う始末である。

一度食べると忘れられないのが山イモだ。ネバリは市場で買ったものとは比べものにならない。たゞ採取に時間と労力を要し、曲りくわったイモの土を落とすのがひと苦労である。一時期、山イモばかりを掘りにいったこともある。土を掘るのに専用の道具を作ったりもした。

平地で山イモを採ろうと思うと、直径、深さ共に七〇〜八〇センチメートルの穴を掘らなければならないので、急な斜面に生えているものを掘るのが能率的である。手前から土を崩してゆき、折らずに掘り出せた時の喜

こびはひとしおである。
秋の味覚、松茸が我々庶民から遠のいてしまった今、新らしい秋を、いや、ずっと古い秋を食へるのもまた楽しからずやである。

F

短歌と共に

短歌を作り始めて二十年近くになります。

短歌を始めたのは、やはり、短歌を作っていた母の影響かも知れません。或いは、母の持っていた、与謝野晶子や斎藤茂吉の歌集に触発されたのかも知れません。今、青春時代の歌を読み返してみますと、失った若い季節への愛惜の念で胸が一杯になってしまっています。

- ▽ 書を閉れば山の小鳥の声聞ゆ何をきほひて焦りぬし我ぞ
- ▽ 少しづつ父がもとめし文学書いつの間にか我的书架充たしぬ
- ▽ ブラウスの水をきりつつ白き蝶の翹ぶをしばらくみつめてあたり
- ▽ 満開の桜車窓に見えてきぬ眼閉れば徹る旅愁
- ▽ 車窓より見えぬ白きビルの階段上りゆきたし空青ければ

その頃、私の父母は、家庭の事情で別居していました。学校の休暇になりますと、東京の父の所から、丹波の母のもとへ候鳥のように帰って行ったのでした。

- ▽ 黄蜀葵咲かせて独り棲む母に告げ得ず列車に乗りてしまひぬ
 - ▽ いたわれ励まされきし私の眼に鳳仙花は赤く揺れやまず
 - ▽ 母にすら忘れられてゐると思ふ日よ我はコンドルの如き眼してみむ
 - ▽ 自己のペース守りて明るき友の顔何を迷ひつつ我は生きゆく
 - ▽ 生命光る生き方はなきか万葉も源氏も今日の我には遠くして
- 内向的な私はいつも孤独でした。それ故に短歌を作ったのかも知れませんが、古典を読む毎日に、もっと有意義な生き方があるのではないかと懷疑的になったのでした。

▽ 君も孤独我も孤独にてかなしみを煩ちあひつつ生きむと思ふ

- ▽ 川底まで澄み透りたる冬の流れ沈潜できぬ若さを持てり
- ▽ 愛されて愛して無傷の日々ゆけりウインドウの人形のつぶらなひとみ
- 学校を出た年、主人と知りあつて結婚しました。孤独の世界からやつと解放されたのでした。そして、翌年には長女に恵まれました。とても嬉しかったです。それからは、子供に関わる歌ばかりになつてしまいました。
- ▽ 雨霽れて濡れし枯生の明るさよ歩み初めし吾子とみづみづとある
- ▽ 東京の古書街に本を漁りし日も遙かなり今日は子のむつき干す
- ▽ 抱きあひる吾子のみひらく眼の中にまさまざと小さく我が写りある
- ▽ 音もなく死の灰は日本を覆ひあむ真夜不意にもう生めぬと思ふ
- 子供が生まれた頃、南の海で外国の原爆実験が盛んに行なわれていました。日本は死の灰の谷間になつていたので、大変不安な毎日でした。
- ▽ ひまわりの芽の出しことを子はつげぬ樹々のみどりの鮮しき朝
- ▽ もの濯ぐ手もと休めてテレビにてたまゆら海の詩の朗読を聞く
- ▽ 白く乾きし下着など丹念にたたみあつ母を超えぬ生の俄に淋し
- ▽ 勢ひて過せし一日の終りたりクリナーにた易く吸はれゆく塵
- ▽ 吾子のためハンカチーフに小さき花刺しつと思ふ受身の生き様
- 子供が次第に成長し学校に行く様になると夫と子供を待つ毎日の、受身の生活に耐えがたくなつてきました。
- ▽ カットせる髪傾けて我が少女たどたどしくもローマ字を書く
- ▽ 淡雪のひそやかに窓に舞ふ夕べ吾子と緋色の鶴折りてあつ
- ▽ 我が肩まで背丈伸びたる女童のときに辛辣なる言葉を放つ
- ▽ 母われを離れゆくか一冊の赤き表紙の日記帳を秘む
- ▽ ニュータウンに水銀灯の点るころ子は草の実をつけて帰る来
- 娘は小学校高学年になりますと、読書量も増し、次第に私から離れて自分の世界を持つようになってきました。
- ▽ 青く冴ゆる冬天のもと声あげつつサッカーをする子らを見守る
- ▽ 少女らの声に思わず振りむけば空に鮮やかに冬の虹あり
- ▽ 平衡を失ひて心危ふき日朱の人夢を花型に切る

▽ 連翹の黄に咲ける午後高校に合格せし子とケーキ焼きあひる

娘が中学三年の春、この団地に移つてきました。そして昨春、娘は高校生になったのです。すっかり成長して私より背丈も高くなつてしまいました。どうか社会に有用な、魅力的な女性になつてほしいと希つています。育児を卒業した私は職につきました。そこに学んでとどまることなく、成長していきたいと思っています。

短歌は、私の青春時代の黄字塔でした。これからは、生の証しというよりな大げさなものでなく、日々の哀歓を、ひそやかにうたい続けたいと思います。

M・Y子

秋は私の家の中に

秋が来た！と空は告げるので、私もそれを一目みたい衝動にかられた。ところが何処に行けばよいのか、場所がさっぱり分らないので、お向えのご主人にお聞きすると、勝尾寺に行けば、とお教え下さった。そんな近くにあるのなら……私はその週の日曜日、早速出かけることにした。

その日の朝、私の計画をかぎつけた家内は止めとけと有り。わけを聞くと、「あなたのなまくらな体にとうてい出来っこない仕事だから」と、更に彼女は「明日は仕事を休まないでね！」とクギをさす。私は見くびられた腹いせに「何が何でも秋を引っこ抜いて帰るぞ」と彼女に言葉を吐き捨て家を飛び出た。

正受老人のかけてくれた道案内板は、そんな私を優しく出迎えて呉れる。私は気を良くし、ヘビのように曲りくわつた山道を、敷きつめられた木の葉で足をすべらせながら一気に登る。しかし、その作業は三十分ともたなかつた。太鼓腹は音をあげ、心臓は止りそうになり、胸は、うまいはずの空気を頑として受けつけない。仕方がなく大休止。それからの私は、足はとぼく、身体はよた／＼、が、とも角勝尾寺にたどりついた。

秋はどこだろう？ 体に休むいと間を与えず、二時間かけて境内をくまなく捜し回った。しかしそれはいつこうに姿を見せない。かわりに、大勢の

人ごみだけが目につく。こんな賑やかな中では、物静かなそれは決して姿を現してはくれまい。あきらめて私は帰途につく。無論バスで。

秋は私に遠いなあ！そう思いながら空きつ腹にビール一本・めし三杯をかき込んだ。家内は「それ見ろ」といつた面持ちで私をながめる。

正にその通り、秋を見つめる私の作業は途方に終った。

日頃なまけた体にむち打ったのがこたえたのか、その夜、身体がぼてぼてなかなか寝付けなかった。水を一杯飲もう！と台所に足を踏み入ると、すみの方で小さな声がある。そう、いつびきのコロギが奏でる音楽だ。優しいようで、寂しいようで、きれいなようで、哀しいようで………
そしてそれは、自分のはかない運命をのろう彼の嗚咽に違いない。
あった、あった、やっと秋を見つけた、私の家のど真中に。

日生（匿名）

川柳

取り入れへお役ごめんのかかしさん

親睦を兼るソフトへわく歓声

来年に期待つなぐ残念会

妻と子の声援背なで聞くバット

値上りの秋へ会計簿にらめっこ

松茸は見るだけにする市場籠

赤字には勝てず消ゆく古都の町

天高く幸福祈る夫婦鶴

祝電に意志悪もある披露宴

食欲の秋へ胃腸から苦情

K・H

ある午後メモ

ある午後、居眠りから目覚めた時、とつせん、不安・空白が拡がっている。ぼんやりした目に、乾ききつたバレット、放置されたキャンバスが写る。ことばにならない不快感が増巾することに耐えられず、映しだされたテレビの中へと、少しずつ気持をずらしてゆく、子供を寝かしつけた、午後のひととき――。

描く、それはいつの頃からか、こうした時間とともにある。「何故、描くのか」――表現することが、何か社会的な意義や価値を持つとして、何故「私」が、という点から考えたとき、決して明確な解答にはならない。又、そうした意義や価値は、私の表現に対する意欲を少しも支えてはくれない、ただ、私の中の世界を、私の前の造形化しようとする世界に、いかに確かなものとして結びつけ、つくりあげるか、それが、私の制作活動の努力のすべてでありたいと思うし、私の表現活動を意味あるものにしてくると考える。

表現活動を自己に拒み、「私には表現すべき何ものもありません。」と自己に語らせるほど、私にはものが見えない、又、こうした言葉は、卑屈な含みをもって語られるべきではないだろう。

描くのも、描くのをやめるのも、気まぐれな出来事かもしれない、描くことに、一時しのぎの出来あいの論を付け加えることもないだろう。ただ確心できるのは、表現活動のその時において、私は「生」の充実したひとときを確かに持つことができる、それが楽しいひとときばかりではないにしても、である。

二八棟二〇二

森

幸子

女房のお尻をさす話

のっけから尾籠な話でご免なさい。
めったに口に出してはおっしゃらないが、女性のお通じの悩みつてのは大変なものなんですよ。ね。「女性の大敵便秘」ってCMではよくお目にかかるんですよ。

いや先日もね。会社のK課長と一杯やっただんですが、談たまたまそのことになりましてね。酒の肴としてはあまり結構な話題じゃあなかつたんですけどね。

K課長、ちよろつと口を滑らしましてね。

「いやあ、毎朝ねエ。ババアつてトイレから呼ばれるのには参つてしまわうワ。」

「エ？何ですつて、誰が呼ぶんです？」

「女房がね、お尻をさすれつて云うんでねエ」

これにはびつくりしましたね。K課長夫妻の円満ぶりは、平素から定評のあるところでしたけどね。

K課長の奥さんつて美人なんです。三十五・六才かなあ、グラママーでね。

つまりね、毎朝毎朝、「ババア」の甘い声で呼び寄せられて……………。

奥さんは重症の便秘だそう、そりやあ難産なんですつて。

あのきれいでグラママーの奥さんのお腹やら、腰からお尻にかけてせつせつとマッサージするんですつて。

「うちの女房、そうしないと出ないでねエ……………」

K課長ニタツとしてね。それで結構まんざらでもなさそうを顔して……………。

ウンウン頑張つてる奥さんの、ゆで玉子の白身みたいなおヒップやら、

「え？ここかい？」「ああ！そこよ！」なんてでれでれしてる課長の姿やらがまざまざと目に浮びましてね。しまいに心なしかよい匂いまでただよってきたりして。

会社ではむっかしい顔してるんですよ、K課長つてのは……………。

あの晩だけは悪酔いしちゃいました。通りすがりの美しいお嬢さん達までが、なんだかしこたま貯め込んでるような気がしてきてね。

「人はみかけによらない」つて云いますけどね。ホントにこのことやつたんですねエ……………。

K夫（匿名）

親しく睦み合う作業はツナ引きのようなものだ。力をゆるめれば自分が転び、強く引くと相手は倒れる。楽にするには一つだけしか法はない。即ち相方共力を入れないことだ。（M氏の談）

自動車文庫だより

自動車文庫の係を始めてから、いつも思うことがあります。

それは、私達の団地の人々に実にすばらしい読書欲があるということです。通常、ある一定期間が過ぎると、マンネリ化し貸し出し冊数や人数が減少するのですが、私達の団地では未だその傾向は表れていません。又、未返却の本もその次には殆んどが返されますし、諸君で返却が遅れ督促をお受けになる方もありますが、その際にはまったく恐縮してお見えにられません。その立派な態度にうたれ、私達は嬉しくなります。本当は、督促を受けないうちに返すのがいいのには違いありませんが……………これだけ旺盛な読書欲に応えるため、又、利用者にとつてさらに良い自動車文庫となる為に、今後の活動の指針となる資料の一端を得ようと過日、アンケートを求めました。

皆さま方のご協力をいたゞいて、八五%の答えが返ってきました。その結果の概略をここに報告させていただきます。

- 一、利用される方……………主婦がほとんど 九十%弱
- 二、ステーションまでの時間……………十分以内 八十%
- 三、利用度……………毎回七十七% 時々十七%
- 四、希望の本

- (1) 小説、エッセイ 七十九%
- (2) 教養書 十六%
- (3) 実用書 十一%
- (4) 外国小説 五%
- (5) 児童書 十四%

この結果、私達の団地での本に対する欲求度は、完全に大人のものであるということがわかりました。

◇本館を利用したことがありますか？の「問い」に対し、はい十七% いいえ八十二%の「答え」が返ってきました。

ここに、私達の団地が、市の中心から極端に離れている実情がはつきり現れています。したがって自動車文庫の利用価値は多大なものがあるといえます。

◇本の種類は適当ですか？……………はい十七% いいえ三十四%……………

この答えは、すばらしい読書欲に充分な満足を与えていないことがわかります。「いいえ」と答えた方に希望することを書いていたときましたところ、殆んどの方が「新刊書、ベストセラーを少しでも早く読みたい」ということでした。

図書館に行成サービスの向上（少なくとも同じ本を二冊は用意してもらいたい）を願うと共に、貸りた人が、次に待つ方の身を考えて早く返す努力が必要だろうと思います。外に、古典・外国文学という希望もありました。

◇どなたが読まれますか？の問いに対し、①自分ひとり四十六% ②自分と家族四十七%、の答えが返ってきました。

ご希望の多かった新刊書や話題になった本を、一冊でも多く自動車文庫に加えられるように努力していきたいと思えます。それはすなわち、図書館側へ私達の希望を訴えることだ、と考えます。

もし、要求事項がありましたら、そのつど係である私達におっしゃつて下さいませ、充実した皆さまに喜んでいたゞける「自動車文庫」にする為

自動車文庫係 知原 尚（四十棟三〇二）

雑 詠

罽雲茜にそめて島暮るゝ
夕茜芒の穂波金色に

この径の黄昏が好き 曼珠沙華
どこまでも歩きたき 土堤 曼珠沙華

さきほどの橋を眼下に紅葉山
葡萄畑つゞく山なみまろやかに

コスモスに風あるところなきところ
丘に出て広がる月の芋畑

ゆくほどに径はけわしく葛の花

二十一棟一〇三 稔 雄

「粟生の里」記

S字カーブのだから坂を降りるとそこが粟生団地。最近入口の部分に信号機が設置されたが、どういふ訳か他所のそれに較べて、少しも気にならない。団地に入る直前を遮ぎられながら、その数秒が何とも云えぬ「間」になって我が里に帰った心の静寂を取り戻す。

時間と天気にもよるが向いの山の連なりが思いもよらぬ色合いを見せることがある。秋の日が暮れなずんで団地の窓々の灯が瞬き始める頃、山は何とも美しいセピアから薄墨色に、そして夜の影へと沈み始める。

右手に低く点在する古い村々と、正面に白亜の偉容を見せる病院とのコントラストも面白く、毎日見馴れている筈なのに見飽きるということがない。

いつの頃からだったか、自分の第二の故郷と定めたこの地のことを「粟生の里」とひとりぎめに呼ぶようになった。

萌えそめた春、生気にあふれた夏、そして今、秋。やがて木枯しの季節を迎えようとしながら粟生の山は四季それぞれに生きている。

勝尾寺川のほとりを散策しながら、その折々に感動したことを思い出す。いつだったか色鮮かなアザミの郡落を発見したことがあった。ひっそりとかくれていた山百合。

蛍のイルミネーションが描いた夏の夜の詩……………。

コンクリートで固められた団地だけれど、道や建物の描く幾何模様古きよき里を意外に損わず、新旧の調和を見ていることにほっとすることがある。

ともあれ私達にとって第二の故郷である「粟生の里」を大切に思いそして暮りたい。汚染も騒音もここにはやって来て欲しくない。いつまでもよき「粟生のふる里」であって欲しいと願うのは、ひとり私だけだろうか。粟生で生れた団地の子らにとって、ここは本当にふるさとなのだから。

F生

四十才からのスポーツ

スポーツの基礎は子供の時から

人間の身体活動はうぶ声を上げたときから、というより母親の胎内にあるときからすでに始っています。あなたが立派な発育を示すためには、乳児期の発育が大切なようです。この時期は、一生のうちで最も発育のいちじるしい期間ですから、このときの障害は後に大きな影響を与えます。

知能教育は小さい時が大事だといわれますが、スポーツも又、基礎は子供の頃につちかわれます。親が子供を大切にすきたり、思春期の発育期に受験勉強に明け暮れさせていたのでは、立派な体力は養成できません。

あなたの年齢に応じてどういうスポーツを行えばよいのでしょうか。幼稚園児、小学生、中学生、高校生、大学生、社会人……そして四十才からのスポーツとさまざまありますが、今回はその四十才からのスポーツをポイントにお述べいたします。

四十才からのスポーツ

四十才以後になると、社会的地位も高まり生活も安定してきます。が、それだけに暇がなくなりそれを理由に、スポーツを行うのがたいそうおっくになります。太りすぎを防ぎ、体力を低下させない為に、そこでスポーツが必要となってきます。

四十才からのスポーツで注意することは次の点にあります。

《自分をきたえようと思つてはなりません》

四十才以後は体力がだれでも下り坂です。この時期に体力を向上させようと思つても有害無益となります。すべて自然の理に反抗しない、それが四十才からのスポーツの大前提です。体力の向上でなく、低下の防止の為にスポーツを行つて下さいませ。

《定期的に行つて下さい》

あなたは、たまにテニスなどをやるからアキレス腱を切つたりするので。普段何もしないので弱っている腱を、急に使えば切れてしまうのは当り前です。あなたがスポーツをやりたいのであれば、定期的に行うことをお勧めします。規則的な生活は四十才以降の年に特に大切なものです。

《勝ち負けにこだわらないで下さい》

勝ち負けにこだわって興奮すると、交感神経系統が緊張し、副腎からア

ドレナリンが分泌され、あなたの血圧を上昇させます。若人のそのようにむきになる必要はないかと思ひます。スポーツの目的は、日常生活の緊張を解きほぐすもので、解きほぐす作業に緊張は要りません。

《寒い所で行わないように》

あなたは無理をして冬に北風の吹くゴルフ場へ行く必要はないかと思ひます。寒いこというものは、若い人のやるものです。魚つりも無理に冬に出かける必要はないように思ひます。寒さにさらされれば、カゼを引き易く、若い時は発熱や頭痛ですぐ判断できますが、年を経ると事情が許さないせいもあつてか、カゼを抱え込んでいても身体は教えてはくれません。たいしたことはない、と思つているうちに気管支炎から更に肺炎へと進行します。それはこの年代の人々にとっては、やはり恐ろしい病気の一つでしょう。冬の間は室内や暖かい日中で運動をし、カゼを引いている時はやらない方がよいようです。毎日繰返し行うのに最適な運動は、「歩く」とだと思ひます。会社への往復は車にしないなるべく歩きませんか。それが四十才からの身体に合った運動です。

ゴルフも結構、軽いハイキングも結構、野球・テニス・バトミントン・バレーボールみな結構です、但し無理をしなければの話です。ランニング・ラクビー・ボートレース・競泳などは強すぎます。じきに疲れてしまふスポーツは体に適応してない証拠です。四十才からのスポーツは、適応し得るものを選ぶ、それが大切なことだと思ひます

寿命の延長と共に、今後、四十才からのスポーツがますます重要視されてくるものと思ひます。

十二棟一〇六 石光虎之

雑詠

手折られて小さくなりし山つゝじ

新緑に朱の美しきいつくしま

原爆忌折る姿のうら悲し

秋暮れて瀬戸の島々灯がともり

二十一棟二〇三 幸江

拝敬 町の天狗様

もうすぐ貴方の出番が近づきましたね！もう貴方が大阪の町にその第一声を記してから何年になるでしょうか？そう…… 思い出すと最初は大阪市役所だったかな？多くの人々は貴方のその行動その主張、そしてその慈悲心に鮮烈なショックを受けたことでした。

新聞、ラジオ、テレビ、各々の報道機関はこそつて貴方の行為を絶賛しました。そして北風が吹き出すと、そろそろ出番が近づき、人々は貴方がいつどこへ出現するのか？などと思ひ出すのです。……私も又、貴方の出番が近づいたことを感じながら、冬の近づくのを待っています。

でも最近私は貴方のしておられることに、少々疑問を持ち出しました。失礼をもわきまえず、しばらくは私の言いたいほうだいを聞いてもらいたいと思います。

まずその第一…… どうして貴方は年末の忙がしい時に人さわがせな（失礼な言葉で申し訳ありませんが、少なくとも私はそう思ひ初めております）声明文と共に一万円札を、人目のつく所に張り出すのでしょうか？私流に解釈させていただけば、人目の多い所に張り出すことによつて、貴方は一種のスリルを楽しんでいるのではないのでしょうか？最初は本当に恐る恐るピラをはつたのではなかつたのでしょうか？それがあのように大々的にマスコミに取りあげられ、美談として称賛されるに及んで貴方の心に、本当天狗が住みはじめたのではないのでしょうか？人目をかいくぐつて声明文を貼り出すひそかな快感と自己満足、そしてスリル！私はいま、こうして貴方にお手紙を書きながら、その心の微妙な起伏が手に取るように理解できるのです。（私は少々ずなおではありませんのでお詫びしておきます）そして又どうして一万円という金額がついてまわるのでしょうか、貴方はお金持ちか貧乏な人か、私には知るよしもありません。が、少なくとも一万円単位ということに関して、貴方のすなおな慈悲の心を感じません。本当に心の底から出たものであれば、金額の高は問題ではないはずで。出来るだけ自分で融通できる自由になる金額でよいのではないのでしょうか？五百円札、十円玉、五円玉、一円玉、それらが声明文に、セロテープでとめられていても、私はちっともおかしくはないと思います。むしろ、その

方が、自然で貴方の行動の正当性といえますか、或いは本当の人間性、或いは心根といったものを感じると思ふのです。又、それに関連して、貴方の義挙はどうして年末だけなのでしょう。確かに我々日本人は、新しい年を迎える正月というものを、他のどの国民よりも意義あるものと考え、生きております。しかし年を越すのに貧乏で越せないからといって、それだけで年末に施こしをすることだけで、貴方の気持ちはすまないはずで。最近、石油ショック・円高と年柄年中不景気で、天狗さまにしてみれば、出番ばかりで引つ込む幕間もないほど毎日生活苦故の心中や、夜逃げ・捨て子などの悲惨な事件が報導されております。なのに、立派な天狗さまは何故、沈黙されたままなのでしょう？やはり年末の一日と、普段の一日とは違うのでしょうか？共に同じ一日でそれを暮せず死に急ぐ人々がこんなに多いというのに貴方は、年末の一日一日が、より重要な一日だと思つているのでしょうか？

第二に…… その声明文の内容ですが…… どうして貴方は政府・行政のあり方を非難なさるのでしょうか？そのこと自体は私は、決して間違っているとはついぞ思ひも致しません。が、どうして不幸な人々の救済に尽力をなさりながら、同時にそれをなさるのでしょうか？行政の悪さが人々の中にこのような不幸をもたらすのだから、そのために私はお金を差し出すのだ！ということ（私にはそう思ふのです）が、私には良くわからないのです。政治不信とか悪政に対する追求は、新聞のしかるべき欄やマスコミ関係への投書、及び市民運動として転用すべき問題ではありませんか？それと、慈善運動もしくは福祉的行動などボランティアや精神的行動とは別なものではないのでしょうか？宮城マリ子さんの「おむの木学園」での活動なども、やはり自分を犠牲性にしてなおかつ力の及ばないギリギリのところでも、マスへの訴え・政府へのアツピール、故に頭の下がる思いがし、本当の意味でのマスコミを通じ私達に訴えるものがあるのです。

貴方の声明文の調子は、なぜ○○○にあらず、とか○○○によつて○○○するものなり！などと大事態的になるのでしょうか？ひよつとして、ご年輩の方でそういう言ひまわししか出来ないのかも知れませんが、何となく貴方のことが、新聞やテレビ・ラジオで報導されるたびに、ただひとり得意顔をして悦に入つてゐる貴方を感じてしまうのです。

さて、長々と失礼をも省みず、貴方さまを中傷ばかりして申し訳けあり

でした。ひわくれもののひがみとお聞き流し下されば幸甚に存じます。
粟生団地にお住いであられる？かも知れませぬ
町の大天狗様へ

粟生のからす天狗より
匿名希望

このごろ

お元気ですか
今どうしていますか
落葉が かさこそと 吹き寄せられ
冷たい 木枯しに 舞う日も
もうすぐ
あなたは 今 どうしていますか
窓辺で かすかに風の音
ブルーマウンテンの香り
お元気ですか とつづりながら
なぜかむなしく
ペンを置いてしまうのです
木枯し が やってくるのですね
もうすぐ
お元気ですか
今どうしていますか

Y子

ファミリィハイキングに参加して

文化部主催のハイキングが、十一月十三日行なわれた。あいにくの空模様で、参加者は以外に少なく、出発時間の九時三十分集った人は九名。全員がポツポツ雨の落ちてくる空を見上げては、思案顔、協議の結果「せっかく弁当を造って来たので行こう！」これが結論で、九時四十五分出発。白鳥を経て採石場の横を通り、いよ／＼ハイキングコースへ足を踏み込む。山道の横を流れる谷川のせせらぎ、小鳥のさえずり……などを耳にしながら歩くと、突然、

「野苺があつた！」誰かの声、見ると野苺が赤い実を無数につけている。私にはちよつぱりすっぱい味のするこの苺が、遠い故郷での少年の日のことを想い出させてくれた。

なおこの附近では、朱色の実を付けた山柿があつたり「はっ！」とする程にあてやかな紅葉の山楡や、小檜などの黄葉が、眼を楽ませてくれた。

昼食は滝つぼの横で紅葉を眺め、落下する滝を見上げて、九名全員が一枚のシートの上で弁当をひろげた。この頃には雨もあがり、まさに素晴らしい景観での昼食会だった。滝みちでのみみじは、紅葉までに一時期の感はあつたが、かわりに樹間の山茶花が見事であつた。大木の樹蔭にひっそりと咲く、この山茶花の美しくさは強く心に残つた。

帰りは滝安寺に立ち寄り、弁財天に参拝、滝安寺は折からの紅葉祭り、境内ではスニーカーや、美人モデルの撮影会などが行なわれていたし、何よりも左党の私を喜ばせてくれたのは、一パイのふるまい酒であつた。きれいどころの酌でいただく味は何ともいえない。量が少ないだけになおさらなのかも知れない。

さらに私たちは、参加した子供達のために、昆虫館へと足を伸ばした。

こうして一日を、参加者全員楽しく過ごし、みちたりた気持を抱きながら三時すぎ無事帰着いたしました。みなさまも次の機会にはいかががでしょうか。

文化部 今長

短歌

その重き使命に比して労働の
" かち " むくはるか白衣の天使は

何んとなくものうき日には点滴の
落ちる時間のもどかしきかな

病室の中をよぎりし国道の
走る自動車のライトの強さ

面会の人の来るをいつとなく
心待ちせし長き入院

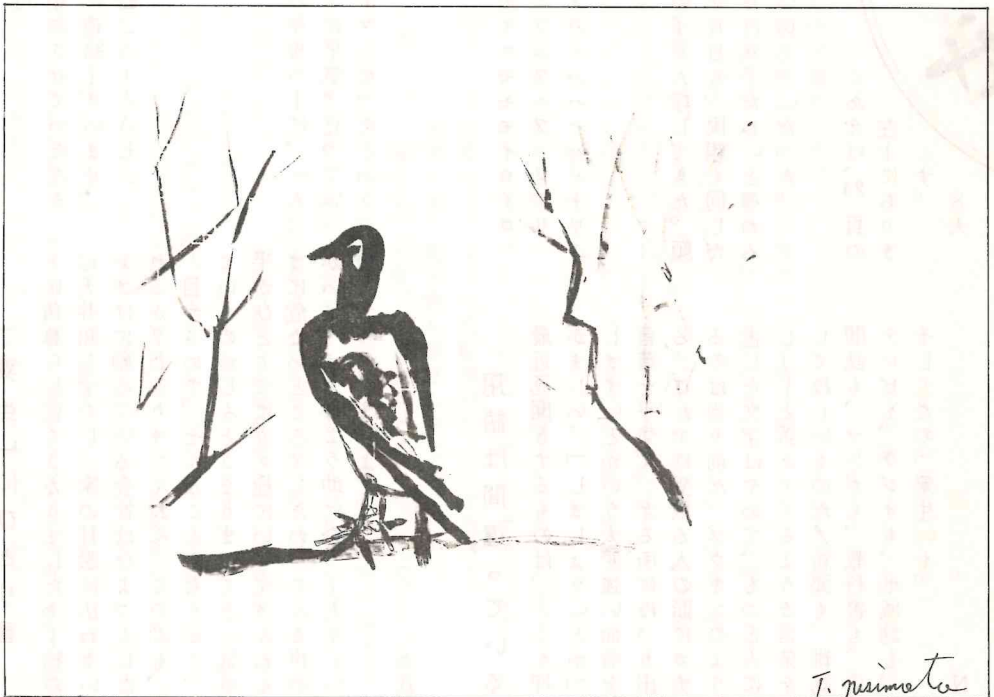
真夜中にふと目覚ませばどこやらん
女の部屋ですゝり泣く声

ひんやりとはだに冷たき早春の
風が吹き入る朝の病室

何んとなく落ち着かぬ気で退院の
時間の来るを待ちいし心

早起きがクセとなりしよ病院の
くらしのあとを妻よなげくな

五棟一〇三 矢野



T. Naimoto

笑い話

。お医者さんに二人の子供を連れてきていた奥さんは、子供達に「静かにしていなさいとダメよ、静かにしていなさい!!」と最後迄、一番さわがしかった。

。足をけがしたので、タクシーに乗って「一番近い病院迄お願いします」と言ったら、着いたところは、精神病院であった。

28棟 506

S・H

毒舌四言

一、「肩書きという看板」は、人目につかない

ところを立ててもらいたいものだ!!

二、もつと恥をかくべきだ!!上品にしゃなりし

やなりとしては足が疲れる、そのはず、足の名は心と言う名だからだ。

三、子をなぐれない親は、愛という文字を知らないからだろう。何故なら、他を傷め、自

も苦しむ「美しい作業」をしないからだ!!

四、和とか親睦とかいう紙切れは見るものいや

だ!!どうしても寄越す気なら、「控え目」という手で差し出してほしいものだ。

自治会宅

「粟生」

家事の手伝いをお願いします

家庭の事情により、現在夕食を作る時間がなく困っております。どなたかお助け下さいませんか?
一、年令：五十五才まで。

二、希望時間：午後二～五時

三、御礼：一時間五〇〇円位

その他、内容についてはご相談させていただきます。誠に恐縮ですが夜間に連絡下さいませ。

35棟 206

三野

二九一六八七三

頭の体操

①

時速二〇〇キロで走る列車の屋根の上に、一人の男が、どこにもつかまらずに平気で立っていた。なぜか?べつにスーパーマンだったというわけではない。

左の文章の意味は?

②

(1) スモモモモモモモモモモモモイロイロ

(2) ウラニワニワニワニワニワニワニワニワトリ

(3) ハハハハハハハハハハハハハハハハハハトワラウ

③

ある学校に、二人の男の子が入学してきた。顔つきがそっくりで、生年月日も、両親も同じだった。ところが「君たちは双子だね」と尋ねると意外にも、答えは「いいえ。」だった。この二人の関係は?

こたえは、24頁の

左上にあります。

S夫

「粟生」にひとり言

とに角暮らしにくくなりましたあ!物の値上りは天井知らずやし、家の月賦は払わないかんしおまけに勤めている会社はひよつとしたらつぶれるか?わかりまへんねん。この間も、夜中ふと目がさめて、そんなことを考えると、「生きていくのがしんどくなりましてな」気がつくど、手がひとりでにガス栓にいつてまんねん。ほんまに危ないところでしたわ。こんな世の中やさいかに、まあ仲よう助け合って人生という化物をやっつけまひよ。

S氏の談

用語は間違っている?

最近見聞きするものは、どうも押し付けがましい。「しましよう」とか「お願いします」とかいう大変強い命令を帯びた言葉を平気で、至る所にほうり出している。これでは受取る人の頭にカチンとくるのは当たり前だ。ゾウキンのように使った古した文字はやめて、もつと人に心にひし／＼と訴えてくるような言葉を捜し出してほしいものだ!新聞も、雑誌も、週間誌も、マンガも、教科書も、広告も、テレビも、ラジオも、地域誌も、...:そしてこの「粟生」も。

N

楽我

「団地」をダメにする十ヶ条

大体粟生団地はきれいで過ぎて面白くないよ。人間の
住むところなんて、ポロポロでゴミごみしてて人間の
臭いのブンブンするようにな……そうさ、スラム

街だよ、そんなところが住み良いのさ。粟生団地がそ
んな風になつたらすごいだろうな……

幸い同好の士も大勢いるようだ。近所のいやがるこ 床をどんだん踏み鳴らしてガキと遊ぼう。女房と相
とを凶々しくぬけぬけとやる人間なんて頼もしいね 撲をとろう。下の家は「うるさい!!」と怒鳴ろう。

エ………みんなで大いに頑張つて、ポロポロの 負けずにやろう。

団地にしようじやないの。

次の十ヶ条なんてスラム化促進の金科玉条だと思ふ

ぜ。

◎第一条：ゴミはゴミらしくしよう。

ゴミ様だか何様だか丁寧にバックすることなんか
ない。指定日だのゴミ置場だの問題外、そこら辺に
撒き散らそう。道路もバス停も家の中もゴミだらけ、
ゴミ天国を造り上げよう。

◎第二条：騒音万才。競争で音を出そう。ピアノ、
ステレオはガンガンやろう。ガキはつねつね泣かそ
う。隣のカミさんに負けずに喚こう。よそのドアの
前で大いに陰口を叩こう。

◎第三条：車の持ち主こそスラム化の神様です。
好き勝手に駐車しよう。アイドリングはガリガリと
盛大にやろう。クラクションは大いに鳴らそう。深
夜の空ブカシ・ドアの音・カーラジオ、みんな素
敵!

◎第四条：芝生をむしろう、踏んづけよう。
ボール遊び、縄飛び、どんどんやろう。サクのロー
プなんかぶつちぎろう。植木を折ったり、いじめた
り、みんなで頑張ろう。

◎第五条：家の中で暴れよう。
を向こう。蔭口はオーバーにやろう。
悪口や皮肉の二つや三つ、いつも
用意しておこう。親の見てない
時にやあ近所のガキなんかツ
ネっちゃおう。

◎第六条：ベランダは賑やかにビチョビチョの洗濯物
をありつたけ干そう。フトンや毛布をサクに揚げよ
う。パンパン叩こう。ベランダこそ団地美観の極め
手。思いつ切り汚なくしよう。

◎第七条：自転車やベビーカーで階段下を埋めつくそ
う。あっち向け、こっち向け、所狭しとガチャガチャ
に置こう。よその自転車はひっくり返そう。

◎第八条：排水管を詰まらせよう。
髪の毛、糸屑、その他何でもどんだん流そう。天ぶ
らの皮脂など効果的。団地中の污水管が詰まってあ
ふれたら………。イッヒッヒッヒッヒ!

◎第九条：不良業者を大いに誘致しよう。
不良品を買ってヒスを起こそう。不衛生な食
品——集団中毒、ゴミ汚物の山………。
ヤー集団ヒスなんぞこたえられない風
景だね。嬉しいね。

◎第十条：近所同士の人間関係を
アイサツなんかよしてソツボア



家庭



水道代を少しでも安く

水道代があまり高くつくので、友人に聞いたところ「フロの残り湯を温度がさめないうちに洗濯に使っているか」と聞かされ、私も仕事を持っているので夜しかそれが出来ず「そうしている」と答えたところ「便所の水はどうだ」と彼女は言いました。はて何だろう？話を聞くとこのようなことでした。《便器の前にあるタンクから出水を減らす、それにはタンクの左下にある○のネジを回す》彼女白く、六人家族の場合これで月百円は安くなると。

●安い買い物

毎朝のように知人が大きな買い物袋をひっさげ出かけるので、先日こつそり後を付いて行つところ、何と私は吹田の商店街のなかに居ました。折角なので買い物を買ませようと、ある魚屋へ入りました。そして冷凍のタイを十匹も買い込みました、だって全部でたった千五百円だったですもの。

●子供服を買う時期は

なるべく秋に買いましょ。子供は春から秋に成長します。春に買った服はすぐに着られなくなります。——呉服専門店に勤める者より——

資料K様

●アッ！たいへんだあ！

私の玄間でガスの臭いがするので、さっそく大阪ガスへ通報 ……すぐ調査してもらいました。なんと、原因はハマヒサカキ（ツバキ科）。今が開花時期のまっさかり、ハマサカキの花の臭いが「ガス」の臭いと同じとおどろき。

秋になってこの種の通報が四件あったそうです。公団にハマサカキを植えないよう、申し入れしているとのことでした。

あわてん坊ママより

12棟106 石光須美子

●勉強とはこのようなものでは？

何でもいい、好きなこと一つを徹底してさせることです、ホッペタの一つもくらわして。その時自分の顔を打つのを忘れなく。学習するということは、忍耐するということなのです。たとえその時結果が出なくても、高学年、いや、成人してから実を結びます。そう、勉強イコール忍耐なのです。

資料某校教師I様

●変った入浴法のご紹介

今からはお風呂が恋しくなる季節、それでは一寸変ったお風呂の紹介を！

(1)レモン湯

二個のレモンをスライスして、布袋に入れ、お湯に浮かべます。（但し、お湯はその日のうちに流すこと）

(2)しょうが湯

おろし金でおろし、そのしぼり汁を、コップ一杯程お湯に入れます。身体がボカボカと温まったら、「カゼの初期」や「疲労回復」に効果的です。

す。

(3)松葉湯

やはり松葉を袋布に入れます。松の成分の一つである「テレピン油」が、お湯の中に溶け出して「冷え症・腰痛・膀胱炎・リュウマチ」に効果的です。

28棟506

斉藤 一

●私は音を食べる人間です

騒音は、人をノイローゼという病いに追い込んだり、場合によっては命さえ奪います。もし、私達の団地の内にそんなぶっそうなものをお出しになってる方があれば、その方は、私の家にとお越し下さいませんか！（特に楽器やステレオを楽しまれる方、又、ご専門の方）十年間「音」と取っ組み合い、音をひわりつぶした「防音施行者の腕」をお借しします。腕は当団地に限り、どのお宅でも引っぱって行くことが出来ます。（但し手土産や謝礼は固くお断り申し上げます）

第三者に迷惑をかけないで音を楽しむ！その方法を講じた時、始めて第三者から「ほほえましい」というありがたい言葉を頂戴できるのではないでしょうか？広報部が付で連絡をお待ちしています。

●あいさつの大切さ
「おはよう！」この当り前のあいさつを、夫婦及親子間で毎日しているでしょうか？毎日顔を合せているのに今さら……という方が多いと思います。しかし、家族は社会という人間関係を生み出す最小単位です。それだけに、この短いごく自然な挨拶の中に、親しみ、労り、励まし等をお互いの心で確かめる良きコミュニケーションの原点があるようです。

(斉藤 一)

コーヒーを美味しく立てませんか！

秋はコーヒーが殊更美味しい季節だと愛好者は言っています。最近では、豆だけをお求めになり、ご家庭で喫茶店のそれを作られる方が増えました。(業者の談)しかし、美味しい立て方は案外知られておりません。勿論喫茶学校でもどうしたことか？肝心な「コツ」は教えて呉れません。そこで私が、十年係りで見出した「家庭でコーヒーを美味しく立てる方法」をご披露申し上げます。(小人数を対象)

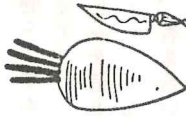
要る材料と器具

- コーヒー豆 → 直接喫茶店向け卸し問屋に行つて、ミックス豆1kgを買うのが最適のようです。大阪市内に大手だけでも十五社あります。値段は三千元迄、これで八十〜九十杯分。但し専門店が高価な一種類のものだけは買わないこと、置き古して偽物が多いから。
- クリーム → 乳脂・乳固形の多く入つたものを使う。ヤクルトに似た大きさが最適なもの売られています。値段は約百円、これで十人以上。製造日以後二週間はもちます。粉状・長期保存可・植物性だけのものは全て不可。
- コーヒーミル → 手・電動どちらでも可。
- ドリッパー → 複数穴のものを使う。一ツ穴のものは不可。
- フィルター → これはどこの製品もみな同じです。
- やかん二コ → うち一コはホーロー引きのポットのこと。

準備

先づ、湿度の低い所(冷凍庫が最適)で密封・保管されていた豆を、ドリッパーに付属しているはかりで、必要量よりやゝ余計めに取り出し、白紙に広げる。そして死に豆(異形・から豆・押し軟かい・特に異色等)を取り除いた後、ミルでひきます。あらさは、グラニュー糖の二〜三倍を

料理



料理一口メモ

◇ もやしをゆがくには…………… 水を一切使わずにお鍋でからいぶりに。もやし自体の水分でしんと仕上がります。又、栄養も流出しません。

◇ 干椎茸を急いでもどすときは…………… 砂糖を少々入れたお湯でもどすと断然早いです。— F子

目安すに。①イールドがお好きならもう少し粗く、②トロングをお求めなら細か目にします。(コツの一) 次にフィルターを広げドリッパーにセットし、ひいた豆を入れますが、③はハカリの八〜九分目、④はやゝ盛り上り目に量を調節します。(コツの二) それをホーロー引きのポットの上にあてがいます。そのまゝ10分と時を与えてはならない、空気が味を奪ってしまうからです。又ホーロー引きが必要なのは、コーヒーを金属の持つ酸から守り味を変えさせない為です。だからひき売りのそれはまずいのです。(コツの三) 一杯当り百九〇ccの浄水器に通さない水をやかんに入れ、コンロにかける。(水道じかの水の方が複雑な味が出る)そして沸騰を見届けたらすぐ火を止め、一杯なら約七〜八秒、三杯では十五秒程待つ。(コツの四) **立て方** ドリッパーの中央に最初の湯を通し、後かまきを画くように均一に豆に注ぐ。湯で浮き上つた豆が紙の約八分目に達したら、ストップする。この作業は必ず一気に行います。(コツの五) コーヒーに替つた湯がドリッパーから完全に去つてから、さめた湯を沸騰直前迄温め直し、前の作業を繰返す、これも必ず一気一杯出しは二回に、二杯出し以上は二〜四回に分けて湯を通します。(コツの六) 予めコップを湯で温めておき、ポットに受けたコーヒーを少し温め、召し上ります。コーヒーを温める時、沸騰させてはなりません。又、立ててから召し上る間に余り時間を置いてはいけません。労をして得た良い味が大半逃げてしまいます。(コツの七)

このようにコーヒーの美味しい立て方は、この方法一つとらまえても大変難しいものです。味を決めるのは、豆の選定も大事ですが、豆の持つ本来の味を何如に引き出すか、じつはその全てにかゝっているのです。残念ながら、雑業とも言うべきその作業を完全にこなしている喫茶店に、未だ出喰わしてはおりません。

か。何かご不審な点がございましたらお電話下さいませ、コーヒーを通じ「親睦」を得たいと望んでおります。私は当年六十五才のおばあさんです。が、一日最低三杯のコーヒーを楽しんでおります。(但し無糖で)

(二九一八八四四) コーヒーに狂つたおばあさん

好きなものありて、楽しむ人は

趣味同好会のご紹介

はじめに

ある本は趣味とその集いがあるならす効用を次のように
説明しています。

—— 人生は所詮冷たいものだ、人にやっかいな「悩みと孤独」
をひっきりなしにつきつける。そんな中で、人は支えなしでは
居られない。支えになるのが「趣味」というものではなからう
か？ だとするなら、もし「同好の集い」を作れば、人が人生を
温め、人生から楽しみを差し出させることもできるに違いない

「趣味同好会」、それは一見派手な看板に思われ勝ちですが、
よく見ると文字は努力という地味な色で書かれています。
だれかがそつと始め、幾人かが集まり、そして楽しみを造り
出し、人々の訪れをただひたすら待ち侘びている……………。
趣味同好会のじつの名は、助け合い、励まし合い、教え合い、
学び合う、そんな「有意義な集い」という名のようです。

ここに改めて、私達の団地に現存する全ての「趣味同好会」をご紹介
させていただきます。(なお、ここに掲載する「会」は、当集会所を利用し
ているもののみです。文はリーダーの方より寄せられたものですが、紙
面の都合上一部割愛又は変更させて頂きます。(注)月謝を要するもの含む)

順不同

大人の部 (一部子供の部含む)

ソフトボール部

〈ご案内〉昨年一月、有志数名により誕生したチームです。(名前：粟生

エコーズ)その後、自治会のお力添えを頂き今日に至っております。
現在の部員は二六名、毎日曜日早朝より試合をして練習にハッス
ルしております。今年にユニホームを新調し、カッコよくなりまし
た。

。 対外試合は、春秋の市民大会及び研修リーグ(箕面市の東西十一
チームづつで結成し、我「エコーズ」はイースタンリーグに加盟)
又、他市の地域チーム等とも行っています。

先般の棟對抗ソフトボール大会を拝見しますと、当団地にはまだ
まだ優秀なプレーヤーが大勢いらつしやるようです。日曜のソフト
で汗を流してみよう!と思われる方、どうぞ奮ってご入部下さい。
体を鍛え、「相互の親睦」を図ろうではありませんか!

〈場所〉主として豊小グラウンド
〈会費等〉月額三〇〇円

〈リーダーの氏名〉竹 村 文 夫 41棟 二九一六九八二

粟生卓球部

〈ご案内〉卓球はひとたび身につければ水泳と同じで、何年経っても体が憶
えていて呉れます。ある日突然やりたくなる、私達の場合もそうで
した。そんな方が四三名も集まりました。
気軽に出来るスポーツです。現在「台」不足で困っていますが、
お好きな方はいらして下さい。

〈場所〉豊小体育館
〈会費等〉月額三〇〇円

〈リーダーの氏名〉足 立 武 夫 28棟 403 二九一七八二〇

囲碁将棋同好会

〈ご案内〉囲碁将棋は人生のようだ、とある名人は言っております。
私達は囲碁・将棋を通じ自らを整え、他を励まし合っております。動
きのない静かな場で、真の余暇を楽しみませんか!碁盤や駒は多く
の人々の手に触れられたいと言っております。

〈場所〉集会所和室(第一・三日曜日午後一〜五時)※会費等は一切不要
〈リーダーの氏名〉山 口 勝 治 29棟 406 二九一〇五九

社交ダンス同好会

へご案内へ行って「ダンス」華やかかなりし頃がありました。良き時代でした。ブルース、ワルツ、タンゴ、ルンバ、みな懐しいものです。そんな時、結ばれた方も私達の団地には多いかと思えます。

今、再現したく思い有志が集まりました。走馬灯に入った絵はときとして飛び出すこともあります。いや、引き出したいのです。そうした方が十組もお見えになっていらっしやいます。

。出来るだけご夫婦でお越し下さい。そうしてクリスマスにはパーティーが行えれば良いが………と思っております。

へ場 所 集会所洋室(土・日夜) 会費等は 一切不要
へリーダーの氏名 柳 田 和 長 23棟 104 二九一七八〇四

新日本婦人の会

へご案内へ私達の「会」は、全国津々浦々にまで会員を持つ背景をなしております。

生活の向上、婦人の権利、子供の将来、のために力を合せ世界の婦人と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてることを目的にしています。

「粟生の集い」では、アートフラワー・子供のしあわせ読書会・押絵・会員内バザー等を主催又はそれに協力しています。働く婦人の方達には、日曜日の集いを用意し、アートフラワーを楽しんで頂いております。教養を深め悩みを話し合い、趣味を活かして生活を爽り多いものにしませんか?ご入会をお待ちしております。

へ場 所 主として集会所 へ会費等へ入会金二〇〇円と月額百五十円
へリーダーの氏名 畠 山 伸 枝 3棟 203 二九一八七六九

「古典読書会」

へご案内へ「書に謳った古人の魂」、それはいつの時代にも不滅であります。それは何故であるか?原因を私達ささやかな集い(六名)は、いま、学んでおります。

①テキスト:岩波古典文学大系「源氏物語」 ②進度:「若柴」の終りまで ③輪読と当番二名による読解

へ場 所 集会所和室(第一・三火曜午前九時半〜一二時) 会費百円
(但し、集会所の使用料)
へリーダーの氏名 肥 塚 和 子 37棟 205 二九一八六二七又は赤 沢 39棟 303

テニス同好会

へご案内へテニスを通じ健康を増進させる、そのことが地域住民の親睦 図るエネルギーとなる、そんな確信から生れました、この「会」は。

コートがなく困っていたところ、自治会のお世話により、このたび、双葉産業株の誠に温かい「志」にめぐり合うことが出来ました。現在五十名の同趣者でひしめき合っています。もしよろしければ会の戸をたたいて下さい、いつでも開きますので。

へ場 所 双葉産業株内テニスコート へ会費等へ入会金二、〇〇〇円 会費三〇〇円(月額)

へリーダーの氏名 吉 川 潔 28棟 402 二九一七九九一 小島貴子 25棟 505

整 美 体 操 の 会

へご案内へ大阪北生協の講座活動(旧家庭会活動)の一環として五十一年 九月より実施いたしました。第二住宅の方であれば、どなたでもご参加いただくことが出来ます。

「やせたい方」はもちろん「太りたい方」も是非一度お越し下さい。身体を整え、身体に力をつけませんか?

へ場 所 集会所洋室(毎金曜午前十〜十二時) へ会費等へ一回につき 三百五十円

へリーダーの氏名 矢 田 千 鶴 子 34棟 404 二九一七二〇六

走りませんか(朝走会)

へご案内へ原益軒の養生訓に「命みじかければ、天下四海の富を得ても益なし。財の山を前につんでも甲なし」と見ます。これは、健康が人間にとって何如に大事であるか、を説いてく

れています。私達も明日への活力を得る為に、毎朝十五分程のランニングを行っています。もう二年も続いております。現在、幼

児から大人まで四十名程の方が見えておられます。ありがたいことに、植木さん・若狭さんの指導者がお加わり下さいました。不思議なことに、いつの間にかやみつきになり楽しさに引きづり込まれています。皆さまもいかがでしょうか、ご参加の程を。

会場 所 豊小グランド（毎平日：午前六時三十分 日祭日：七時三十分から四キロマラソンへ会費等）一切不要

へりーダーの氏名 酒居 公明 37棟 201 ☎二九一六九二二

華道クラブ

へご案内 花は同じでも、あなただけの感じ方があるものです。それを、うつわにあわせて何かを表現できれば……と。

毎週、十二人の方たちが、日本の伝統の美のひとつを勉強しております。一緒に学びませんか！

会場 所 集会所洋室（毎週火曜午前十～十二時） へ会費等 材料費一
回五〇〇円、会費九〇〇円（月額）

へりーダーの氏名 為 貞明子 37棟 401 ☎二九一六九二四

編物の集い

へご案内 編物をやり始めたのはごく最近です。育児が少し楽になり、暇が持てるようになったから以前に購入し押入の奥にしまいでんしていた編機を引っ張り出し……それがきっかけです。

編物を編むことが八人の仲間をつくりました。みなさまも何如でしょうか！（特典：三年で機械・手編みの講師の免状を授与）

会場 所 集会所和室（曜日不定） へ会費等 入会金一〇〇〇円、会費
二五〇〇円（月額）

へりーダーの氏名 袋 井 淳子 3棟 201 ☎二九一八七六七

書道のつどい

へご案内 幼・小・中には、①字を正しく、丁寧に、美しく書く、②碩で墨をすり毛筆で書く日本古来の伝統を尊重し、礼儀精神の充実を目ざす。

。一般の方は、書の深遠を五体（楷・行・草・篆・隸）の極地の追

求を目ざす。

以上を集いの趣旨としております。

会場 所 集会所洋室（毎月曜午後二～五時） へ会費等 入会金千円
会費：子供二六〇〇円、一般三三〇〇円（いずれも月額）

へりーダーの氏名 光 野 栄子 33棟 305 ☎二九一七五九九

3 B 体操

へご案内 女性の美と健康を創ることを目的に、「ヨガ」を世界の音楽にのせて、グループで楽しい健康体操を行っています。

学生さんから六十才迄の成人の方、一緒に汗を流して健康を手にしませんか！

会場 所 集会所洋室（毎水曜午前九時半～十時半） へ会費等 入
会金二〇〇〇円、会費一五〇〇円（月額）

へりーダーの氏名 田 松 千秋 33棟 401 ☎二九一七五五四

ニットサークル

へご案内 ヴォーグシステムによる機械編み・手あみのおけいこをしています。基礎となる「技法」と形よい作品の土台をなす「製図」をしつかり覚えながら、創るよろこびを知る人達のたのしいグループです。

次はババのベスト、そして子供のセーター、又ご自分のパンツ
ロンズスーツでニットのおしゃれを……など、夢ははてしなく拡つてまいります。グループの成果をみなさまに見ていただく作品展を催す計画ではりきっております。趣味と実益を兼ねた私達の会にお入りになりませんか！

会場 所 集会所洋室（毎月曜午前九時半～十二時半） へ会費等 入会
金二、〇〇〇円、会費三、〇〇〇円（月額）

へりーダーの氏名 林 幸子 2棟 404 ☎二九一八七五二

着物着付の集い

へご案内 やはり日本の女性は着物をきたときが一番美しくみえますね！
その着物が現代忘れ去られようとしております。悲しいことだと

思います、文明が歴史を追い出すなんて。いかがでしょう、この辺で着物の良さを見直されては、みなさまの訪れをお待ちしています。(特典：日本着物専門学院の免状授与→三級講師迄)

会場 所 集会所和室(毎月曜午後一時半～二時間) へ会費等 会費

三〇〇〇円(月額)

へリーダーの氏名 江原千鶴 37棟 101 ☎二九一六九〇六

編物の会

へご案内 将来、あみもの講師として生活をエンジョイしたい方の為の学習方法もありますが、他に、ご家族の方のニット作品を時候に合わせて作りになる全く「自由」なコースもあります。

あみものが大好きという方の「会」です。思い立ったらいらして下さい。

会場 所 集会所洋室(毎木曜午前九時半～一時) へ会費等 入会金

三、〇〇〇円、会費二、〇〇〇円(月額)

へリーダーの氏名 井上尚子 11棟 402 ☎二九一七七一五

総合手芸の会

へご案内 貴女も手芸の「集い」へいらつしやいませんか!

手作りの藤カゴにお花をかざったり、ちよつとした刺しゅうをして、お部屋の雰囲気を変えるのも、楽しみの一つかと思えます。いろいろな流行の手芸を順々に取り入れていきます。ご意見をお寄せ下さいませ、勉強になりますので。又、押絵・羽子板の製作も予定しております。(特典：三年で総合手芸講師、東京木目込人形講師の免状が与えられます)

会場 所 集会所和室(毎水曜第一・三がフランス刺しゅう、第二・四は

藤・木目込人形、いずれも午前九時半～十二時)

へ会費等 入会金一、〇〇〇円、会費一回につき七〇〇円

へリーダーの氏名 袋井淳子 3棟 201 ☎二九一八七七七

福寿会

へご案内 若い人達が多い団地の中で、お年寄りの人は話し相手も少なく、割合い寂しい思いをしておられるのではないかと、思い自治会のご援助をいただき「福寿会」を結成しました。

五十～六十人は居られると思われ、お年寄りの内、現在三十人の方が会員となりました。

二～三か月に一回、箕面市老人保養センター「松寿荘」やみのう山荘、又、勝尾寺で楽しい語らいのひとときを持っています。

その他、第二・四木曜日には、当集会所和室でならい事をしたり、おしゃべりをする「木曜会」というのを行っています。

(集会所和室の天井からぶら下がっている「灯ろうやくす玉」は、今年二月に亡くなられた福有さんが、仲間にお教えするため千代紙で作られたものです。多少色はあせてきましたが、大事にしてやって下さいませ。)

まだご入会になつておられないお年寄りのみなさま、本当に楽しい会です。昔の苦労話や、楽しい思い出にひたるひとときを持つてみられませんか? みなさまのお越しを心よりお待ち申し上げます。

会場 所 主として集会所和室(第二・四木曜日午後一～四時迄) へ会費等 会費百円(月額)

へリーダーの氏名 芳賀重男 38棟 303 ☎二九一六九四五

池口清 25棟 302 ☎二九一七八七七

お願いします

団地の若い皆さん、お年寄りの方に声をかけて下さい! 乗り物の席をゆずられるのも結構です。しかし本当は、若いみなさまと対等に、そして仲よく話し合いたいです。

「こんにちは」「お元気で何よりですね」「よいお天気ですね」、これらの言葉がお年寄りには、何ものにもかえ難い「たから物」なのです。そしてそこから生れるおつき合い、それがお年寄りの方々の唯一の生がいのです。

何卒、お声をお願いいたします。

池口清

子供専用の部

本の借出しの会

へご案内／みなさん、本を読みませんか？

箕面市立「粟生配本所」をご存知でしょうか？

一人一週間二冊までかりれます。" 幼児・小学・中学生" の子供さんを対象としています。現在、二五〇名余りのお子達が利用し、読書を楽しまれております。

つたないのですが、絵本や童話の読み聞かせも行っております。是非一度いらして下さい。

新刊書もどしどし入れて充実した配本所にしたい！と係員一同張切っております。

へ場 所／集会所洋室（毎週土曜日午後一～四時迄） 会費等：一切不要
へリーダーの氏名／古畑 和子 30棟 302 ☎二九一六八三二

軟式少年野球部「箕面モンキーズ」

へご案内／「粟生モンキーズ」は、関西団地軟式少年野球連盟に加盟し、野球を通して" 強健なる体力" と" 不屈の精神力" を養成し、規則正しい明朗な少年を育成することを目的としております。

一、箕面市少年軟式野球大会

二、関西団地軟式野球連盟、デイリースポーツ社が主催する各種大会

三、日刊スポーツ杯

四、北摂軟式少年野球大会

以上の行事があります。

過去に「箕面市少年軟式野球大会で優勝」及び「日刊スポーツ杯準優勝」のかがやかしい戦歴を持っています。

勉強も大事ですが" 体と心を鍛える"、それが小学男子の本来あるべき「姿」ではないでしょうか？多数の入部をお待ちしています。（入部資格：三～六年生迄）

へ場 所／豊小グラウンド（毎週水・土・日曜日）

へ会費等／入会金一五〇〇円、会費五〇〇円（月額）

へリーダーの氏名／翁 田 謙一 28棟 106 ☎二九一七九七七

日本ボーイスカウト箕面第六団カブスカウト隊

へご案内／「ボーイスカウト隊」の年少部門として「カブスカウト隊」が組織されています。入部資格は、小学三～五年生の男子です。

" いつも元気" を隊・組（六～九人）のモットとし、年少時の身の健康を父母一体となって見守っています。

活動内容は年間プログラムに従い、主として野外でゲームを通じて、集団生活のマナー・体力の維持向上、そして清掃等の" 社会奉仕" を行っています。ご入隊をおすすめします。

へ会費等／隊費三〇〇円、育成費五〇〇円（いずれも月額）
へリーダーの氏名／森 淵 隆雄 23棟 206 ☎二九一七八一一

ひびき絵画の会

へご案内／クレパス・水彩・絵の具・鉛筆等を使い、動物や風景、お話の絵、想画等を自由にのびりと画けるように勉強しませんか？

幼児・小学生を対象としていますが、一般の方もどうぞお越し下さい。（油絵・デザインを学ぶことも出来ます）

へ場 所／集会所洋室（毎週金曜日午後二～五時迄） へ会費等／入会金一、〇〇〇円、会費二、〇〇〇円（月額）
へリーダーの氏名／安 田 朗子 29棟 202 ☎二九一六八二八

「環」バレエサークル

へご案内／" 白鳥の湖" といえば、すぐ「バレエ」が頭に浮かぶようです。そのバレエの集いが私達の団地の内にございます。

幼児・低学年・高学年にわかれ、それぞれ一時間たつぷり汗を流しながらアンドウ トロワ〜と練習に励んでいます。

近いので皆さまによるこばれております。休んだり、やめたりする子もなく、十五名で始めたのが、四か月の間に仲間がふえ、今では二十六名となりました。集いは、一段とはりきっております。

一度練習風景を、どうぞごらん下さいませ。

汚染及び事故防止策が自然を遠いものにし、その結果子供達は自然にふれる機会が少なくなってきました。自然について何も知らないばかりか、自然とつき合うための知恵も愛着も持たない子供達が育ちつつあります。

(4) 仲間・集団の弱体化について

遊びの時間や空間が減少し、遊びが室内化してくると、仲間を作る機会は少なくなり、兄弟数の減少及び興味の多様化と相まって、近隣での仲間・集団に変化が生じてきています。つまりメンバーは小數化し、結びつきも弱くなり、とりわけ、年長児と年少児とのタテのつながりが切れつつあります。このような仲間・集団の弱体化は、こどもの世界全体の弱体化にそのままつながる問題を持っています。

(5) こどもの遊びの文化の衰退について

かつての子供の集団は、数多くの遊びの知恵や手づくりの技術を保持しており、それらはタテのつながりを通して、年長児から年少児へと長年月にわたって伝承されてきました。それらは子供達の「遊びの文化」といってよいものでしたが、前述によつてその伝承が現在とだえようとしております。自律的な遊びの文化の衰退によつて、子供達は遊びに対し、受け身にならざるを得ません。そしてそれは子供の世界全体の自律的遊びの衰退につながっていくという大きな問題を持っているようです。

II こども会の現状と役割について

すぐれた活動を展開している「子供会」もありますが、その多くは、子供会が作られているから、或いは保護者である自分に育成者や指導者の役がまわってきたから何かやらなければならない、といった「形」だけのものになっているようであり、当然、子供達は積極的な参加意識がなくなり、きわめて受け身となります。「子供会」とは、子供にとつて、地域の大人達が「何かおもしろい行事をやってくれる会」といった程度の受けとめ方であるかと思ひます。このような状態では会員意識の芽生えようもないのは明らかでありましょう。

子供会が、地域における子供たちの心身共に健全な成長（人間の成長）にかかわる教育的活動とするなら、現在子供達の上に大きいのしかかっている前述の諸問題に、どう対処するかを考える必要があるかと思ひ

ます。もちろんこれらは、子供会だけで解決出来る問題ではありませんが、子供会としてどのような姿勢で取り組むか？それが大事であるかと思ひます。積極的に取り組む中から、新しい活力をもつたこども会の組織論や、活動の方法論が生まれることを期待いたします。

III こども会の特質について

「子供会」というのは、子供達の間で遊びを通してよい人間関係を作り上げ、幼い時期に本当に充実した生き方をさせる、そして、彼等の内にある正義感・他に対する愛情・自主性・協調性を引き出し社会に貢献するよう人間を作り上げる、というのが大方一致する見解であろうかと思ひます。こども会は他の青少年活動に比べて、きわめてユニークであります。いま、特質をまとめてみますと

- (1) こどもの育成・指導団体は、自治会・PTA・婦人団体・青年団体・施設・有志団体などさまざまあつて制約がないこと。
- (2) 会への加入資格や条件も一律ではなく、地域によつて差異があること。
- (3) 組織論・活動方法論・活動内容は、一定の規定がなく、地域単位で、自由に・個性的に・独創的に行うことができること。
- (4) 育成者や指導者と子供達の関係は、教育者对被教育者或いは、訓練者对被訓練者といった落差の大きい関係ではなく、親愛のこもつた隣人的なものであること。

となります。

III こども会の今後の課題

子供会組織が、ともすればあいまいなものとなり、子供自身も会員意識を持たず、地域住民の関心も薄くなります。そうすると、一部の育成・指導者の犠牲の上に「会」が成り立ったり、又、その人々にひっぱりまわされたりするような大変片寄つた子供会になってしまいます。そして、活動も、お祭りさわぎの、又はレジャー的な傾向を強めていくことになりま

す。今、静かに子供達の将来を考える時、「子供会」はこどもにとつて、なくてはならないものと思はれて仕方がありません。その「会」を少しでも有意義なものにしてゆく為、保護者はどうすればよいのでしょうか？この全文から察知下されば大変光栄に存じます。

あおぞら子供会代表

35棟106

新谷

博

発刊のごあいさつ

自治会の広報紙「粟生」も発刊以来二年余の間に、第二十七号を数えるまでになりました。自治会活動の報告を中心にしながら、同時に投稿等による「声や意見」もできるだけとりあげよう努めてまいりました。そして「粟生」が、相互の理解と協力を深める「共通の広場」となるよう広報活動にとりくんでおります。しかし、まだ不十分な点や改善を要する問題もいろいろあるかと思えます。それを住民の方々のご協力を得て解決し、より充実したものにしたいと念願しています。

このたび、広報部を中心に、文化部の協力を得て今までに寄せられた投稿や作品をまとめ、特集号を出すことになりました。

私たちが日常の生活を通じた感想や意見を述べあい、ときには随想や創作を生み出し、趣味を語り、いろいろな生活の知恵を交換しあうもの楽しく有意義なことではないでしょうか。明るく健康的で、心豊かな生活をおくるために相互の人間関係やふれ合いを大切にしたいのですが、その意味においても「粟生」の紙面を通じ、交流を深めることができ、誠に喜ばしいことだと思います。

この特集号を契機に、これからも肩を張らず気軽にどしどし投稿していただき、さらにはばらしい「特集号」を出せるようにしたいものです。

発刊にあたりご協力いただいた方々や、編集を担当された方々に心からお礼を申し上げますとともに、今後尚一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

会長 南 正一

編 集 後 記

◇ まず、発刊の遅れを深くお詫び申し上げます。十一月二十三日（勤労感謝の日）にお届けする予定でしたが、編集に手間どり、仕上りはついに師走の半ば過ぎとなってしまいました。そして本日、あたかも風来坊のように皆さまのお宅のポストに飛び込んでおります。本誌をこのようにしてしまったことを部員一同深くお詫び申し上げます。

◇ もしかしたら、本誌は、活字公害の一つなのかも知れません。公害であるなら、すぐさまチリ箱に投げ捨てられる運命にあるでしょう。しかし、本誌は必死で訴えております、「いつまでも残しておいてほしい！」と……。又、使った活字もこう言っております、「平常誌の“ひろば”にも皆さまのお声をいただきたい！」と……。是非、彼らの言い分を聞いてやって下さいませ。

◇ 「粟生特集号」という舞台で、多くの方々の“心の音楽”を聞かされた今、私も又、一つの歌を口ずさみたくなりました。歌の題を「またいつかお逢いしましょう」といいます。みなさまのお力で再び心の音楽会を開いて下さいませ、きつと。

広 報 部

発行 箕面粟生第二住宅自治会